

流通構造調査（英国）  
味噌

2015年3月

日本貿易振興機構（ジェトロ）

ロンドン事務所

農林水産・食品調査課

**【免責条項】** 本報告書で提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本報告書で提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

## 英国における味噌の輸入流通動向

(ロンドン事務所)

日本から英国向け味噌輸出は堅実に伸びている。ロンドン市内だけで約 520 店あるとされる日本食レストランが主な消費先であるが、高級レストランのシェフが自前の味噌作りを行うレベルから、一般の英国人がスープの一種としてフリーズドライの味噌汁をスーパーマーケットで購入するレベルまで浸透している。市場参入に係る流通段階毎の所要期間・関連費用の動向などをみる。

### <一般家庭から高級レストランまで英国人に馴染む味噌>

2014 年における日本からの味噌全体の輸出は、2,386 万 7,954 ドル（前年比 4.7%減）と円安の影響を受けドルベースでは減少した。一方、円ベースでは 25 億 1,511 万円（同 3.4%増）、数量ベースでは 1 万 2,301 トン（同 4.2%増）と増加しており、大口市場の米国並びに主要アジア諸国（韓国、タイ、シンガポール）での堅調な需要を反映したものとみられる。うち英国向けは金額で第 13 位の 63 万 8,443 ドル（前年比 11.7%減）とドルベースの落ち込みが目立ったが、数量では 343 トン（同 0.4%増）と前年水準を維持した。味噌は英国向け 2014 年の農林水産物輸出全体（5,907 万ドル）の中でわずか 1.1%を占めるに過ぎないが、ソース混合調味料や醤油を含む調味料全体（1,079 万ドル）の中では同 5.9%を占めた（表 1 および表 2 参照）。

英国ではビール酵母を主原料とし、独特の味・臭いを有するマーマイト（Marmite）という発酵食品が国民食というレベルで浸透しているせいか、味噌汁・納豆など日本の発酵食品に違和感が無い英国人は多い。これらの味を覚えた英国人はインスタント味噌汁や味噌汁キットを日本食材店で購入し家庭で楽しんでいる。一方、高級レストランではシェフ自らが味噌・麴を作り、例えば味噌のペーストや「らうす昆布」のソースで引き立つ料理を富裕層顧客に提供するなど、いわゆるピンからキリまでの味噌需要が存在する。英国で小売販売されている味噌は清酒同様、JapanCentre に代表される日本食材店で幅広い種類の商品を購入可能であるほか、Tesco や Sainsbury's といった大手スーパーマーケットチェーンにおいて大型店において日系卸である TazakiFoods の PB 商品等が販売されている。

ロンドン中心街で最大の日本食材小売店である Japan Centre オンラインサイト上では、高価格帯品（「こだわってます（ひかり味噌製 750g）」が 8.73 ポンド（1 ポンド＝190 円）、中価格帯品（「白みそ（マルコメ製 500g）」が 4.68 ポンド）、低価格帯品（「あさげ（永谷園製粉末タイプ 37g・4 袋入）」が 2.45 ポンド、「信州味噌（ハナマルキ製の白・赤各 400g）」が各 1.79 ポンド）まで幅広い種類の味噌製品が掲載されている。また、Tesco や

Sainsbury'sの大型店では、Yutaka (TazakiFoodsのPB)のインスタント味噌汁(18g×5袋)が1.5~1.6ポンド程度で販売されている(なお、日本で生産された味噌であるかどうかは表示からはわからない)。

味噌は英国の日本食レストランで使用割合が高い日本産食材の一つであり、ロンドン市内に集中する日本食レストランの中でも、寿司、お好み焼き、ラーメン、うどん、フュージョンタイプなど様々な業態の日本食レストランがメニューに味噌を取り入れている。

表1. 日本から英国向け調味料の輸出動向

主要品目	金額(ドル)			構成比(B)	伸び率(B/A)
	2012年	2013年(A)	2014年(B)		
英国向け農林水産物計	46,039,956	44,705,340	59,067,551	100.0%	32.1%
調味料	10,121,655	10,387,311	10,787,886	18.3%	3.9%
ソース混合調味料	5,007,448	4,526,359	4,468,001	7.6%	△1.3%
醤油	3,447,188	3,617,311	4,080,118	6.9%	12.8%
味噌	576,004	722,652	638,443	1.1%	△11.7%
主要品目	金額(千円)			構成比(B)	伸び率(B/A)
	2012年	2013年(A)	2014年(B)		
英国向け農林水産物計	3,663,971	4,345,539	6,262,209	100.0%	44.1%
調味料	804,772	1,011,218	1,135,560	18.1%	12.3%
ソース混合調味料	397,798	441,282	471,878	7.5%	6.9%
醤油	274,464	351,333	428,644	6.8%	22.0%
味噌	45,795	70,143	66,990	1.1%	△4.5%
主要品目	数量(トン)			構成比(B)	伸び率(B/A)
	2012年	2013年(A)	2014年(B)		
英国向け農林水産物計	-	-	-	-	-
調味料	-	-	-	-	-
ソース混合調味料	576	669	782	-	16.8%
醤油	1,682	1,835	2,072	-	12.9%
味噌	196	342	343	-	0.4%

(出所) 財務省貿易統計

表2. 日本からの主要国別味噌の輸出動向（2014年）

順位	上位15仕向国	2014年 国別味噌輸出合計			構成比	
		金額		数量 (トン)	金額 (ドル)	数量 (トン)
		(ドル)	(千円)			
	世界	23,867,954	2,515,105	12,301	100.0%	100.0%
1	米国	6,384,594	671,734	3,790	26.7%	30.8%
2	台湾	2,385,301	253,210	866	10.0%	7.0%
3	韓国	1,855,262	195,319	1,174	7.8%	9.5%
4	タイ	1,338,427	141,205	792	5.6%	6.4%
5	シンガポール	1,333,448	140,053	501	5.6%	4.1%
6	オーストラリア	1,210,208	127,171	554	5.1%	4.5%
7	カナダ	1,114,172	116,732	747	4.7%	6.1%
8	オランダ	997,921	104,481	258	4.2%	2.1%
9	香港	939,616	99,222	459	3.9%	3.7%
10	ドイツ	925,559	97,414	336	3.9%	2.7%
11	中国	839,550	89,688	415	3.5%	3.4%
12	フランス	744,037	78,826	505	3.1%	4.1%
13	英国	638,443	66,990	343	2.7%	2.8%
14	フィリピン	453,727	47,814	252	1.9%	2.0%
15	マレーシア	350,115	36,972	194	1.5%	1.6%

(出所) 財務省貿易統計

<航空便輸送期間は船便の3分の1以下、現地小売価格は出荷時の約5倍>

日本からの輸送は、船便および航空便が利用されている。船便では、生産者の出荷から最終小売店までに要する期間は計70日間である（表3参照）。日本から英国への海上輸送の所要日数は、サザンプトン港を使用する場合で約30日間である。英国内流通経路における所要日数については、搬入先が概ねロンドン市内所在であるため10日間程度であるが、通関に時間を要した場合等、日本を発してから店頭に並ぶまでに最長合計約2ヵ月半を要することも良くあるため、長距離輸送への対応が求められる。一方航空便の場合、輸送費用は非常に高額になるものの運送に要する期間が非常に短くなるため、日本から現地小売店までに要する期間は計約20日間である（表4参照、船便同様税関検査への対応が発生した場合も含む）。

流通費用のヒアリング結果から、生産者から英国消費者までの流通コストについて海上コンテナの場合を積算すると、日本の生産者の出荷額（指数100）の約5倍（同489）になることがわかった（表5参照）。内訳をみると、味噌に係る物流コストは、海上輸送費、通関手数料、英国での国内配送料である。なお、味噌の場合関税（EUの関税コード2103909080（その他の混合調味料）で輸入した場合は7.70%）が賦課されるが、付加価値税（VAT）は賦課されない。さらに各段階では（輸出業者、輸入業者、小売業）、利益（マージン）が上乘せされている。清酒同様小売段階でのマージンが大きいように見えるが、小売業者は保管料や在庫リスクを抱えて販売するビジネス環境であることを加味しての設定であり、特に小

売業者が不当な利益を上げているわけではないと認識される。

但し日本の業界関係者は、欧米市場で味噌メーカーが過当競争を行った影響により味噌製品が収益性の高い日本食材ではなくなっていることを懸念している。日本から英国向け味噌の2014年の平均輸出価格が1kg当たり1.86ドルと2012年の同価格比で36.7%も下落しており、最大の仕向け先である米国向けの味噌輸出量が英国向けの11倍である日本の輸出環境から見ると、ドイツ、フランスなど近隣の主要需要国での動向も見ながら今後の英国向け輸出に取り組むことが肝要とみられる。

表3. 流通（物流）経路、時間、および商慣習

(船便の場合)

流通（物流）経路	所要時間 （日数）	備考
メーカー（蔵元） ↓ 輸出業者（指定倉庫）	10日程度	オーダーを受けてから指定倉庫まで搬送するまでの人数 低温輸送の場合、リーファーコンテナ確保が制約となるため、オーダーから指定倉庫搬入までに調整時間を要する。
指定倉庫 ↓ 船への積み込み、出航	5日程度	出航スケジュール次第で前後する
海上輸送	30日程度	
通関〔サザンブトン港〕	15日程度	担当官による検査が行われる場合等（最長の場合）
輸入業者倉庫搬入 ↓ 小売店・飲食店	10日程度	

表4. 流通（物流）経路、時間、および商慣習

(航空便の場合)

流通（物流）経路	所要時間 （日数）	備考
メーカー（蔵元） ↓ 輸出業者（指定倉庫）	10日程度	
指定倉庫 ↓ カーゴへの積み込み、出航	2日程度	航行スケジュール次第で前後する
航空輸送	1日程度	
通関	4日程度	担当官による検査が行われる場合等（最長の場合）
輸入業者倉庫搬入 ↓ 小売店・飲食店	2日程度	

## 英国・ロンドン 流通経路・時間等：味噌／Xブランド

表5. 流通（物流）費用

輸出形態	海上コンテナ（20フィートコンテナ）				
ロット					
場面	コスト		単価		備考
	項目	（税）率等	出荷額=100	輸入価額=100	
メーカー（蔵元） ↓ 輸出業者	出荷額（FOB）		100		FOB価格
輸送費	海上輸送費		140（平均）		20フィートコンテナによる海上輸送費はコンテナあたり1,200～1,800GBP（通関手数料込）。
輸出業者 ↓ 輸入業者への受渡	CIF価格		152（平均）		輸出業者→輸入業者への出値（CIF価格）
	関税	7.70%	12		
現地小売店 ↓ 一般消費者	店頭価格		489		<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地小売価格</li> <li>・味噌は付加価値税（VAT）が非課税</li> </ul>
	付加価値税（VAT）	0%			

（注）1GBP=190円で換算

流通構造調査（英国-味噌）

2015年3月作成

---

作成者 日本貿易振興機構（ジェトロ） ロンドン事務所、農林水産・食品調査課  
〒107-6006 東京都港区赤坂 1-12-32  
Tel : 03-3582-5186 E-mail : AFC@jetro.go.jp

---